



ロンドン中心部、あのピカデリーサーカスの真正面に開業した「カフェ ロイヤル」Hotel Café Royal」。東京に例えて言えば、銀座4丁目角に位置する服部時計店が改装してホテルになったと同じ衝撃である



4年間の徹底的な改修工事を経て見事に復活を果たした、ルイ16世様式の荘厳なボンパドール・ボールルーム「Pompadour Ballroom」。230名収容のカフェ ロイヤル最大のイベントスペースである



リージェントストリートの有名なカーブに沿って、カフェ ロイヤルの建物も湾曲した美しい姿を見せる



優美なステンドグラスに創業者である Daniel Nicolas 氏のイニシャル「N」の文字が映えるホテル館内側エントランス



リージェントストリートのある正面エントランス。正装したドアマンがにこやかにゲストを迎える



ホテル館内側から見た正面エントランスのクラシカルな回転ドア

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立ての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのまま撮ってきた写真を掲載する。



筆者 **小原 康裕**  
ホテルジャーナリスト  
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。  
[www.jhrca.com/worldhotel](http://www.jhrca.com/worldhotel)  
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。私のファーストアルバム「World's Leading Hotels」はお陰様で好評を頂いておりますが、写真集第2弾「World's Prestige Hotels 世界の名門ホテル」を去年6月に発刊いたしました。独自に取材した世界各地の最高峰ホテルを華麗な写真と共に解説しております。ファーストアルバムに引き続きご愛読して頂ければ幸いです。



エントランスホールにはゴールドの王冠と「N」の文字が描かれ、まるでナポレオンの邸宅に入り込んだような空気が流れる



エントランスホールの華麗な天井画



「Pompadour Ballroom」に付属したテラスからの眺め

### Hotel Café Royal

よくぞこれほどまで最高の場所にホテルが誕生したものと感心する。ロンドン中心部、あのピカデリーサーカスの真正面に超高級ホテルが開業した。ホテルの名称は「カフェ ロイヤル」Hotel Café Royal」。東京に例えて言えば、銀座4丁目角に位置する服部時計店が改装してホテルになったと同じ衝撃である。かつてのカフェ ロイヤルは有識者や政治家、文豪やアーティストな





ベルサイユ宮殿の「鏡の間」を凝縮したような絢爛豪華なバー「Oscar Wilde Bar」。創業当時の伝説的な「Grill Room」で、オスカー・ワイルド自身も足しげく通ったといわれる



「Regent Suite」から臨むピカデリーサーカス。カフェ ロイヤルはスイートを含め全160室を擁し、気品あるアーバンコンテンポラリー感覚の客室を擁したロンドン屈指の高級ホテルである



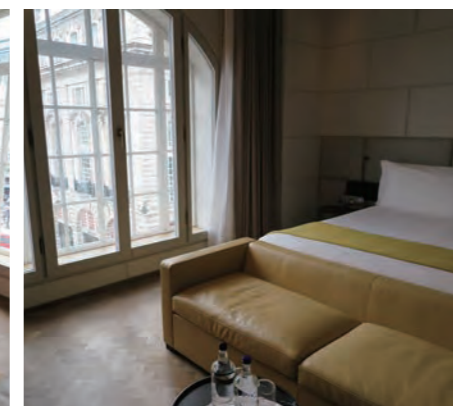
コンテンポラリー感覚のオールデイダイニング「The Ten Room」



「Green Bar」は名前の通り、グリーンの色調でコーディネートされた大人のバーだ



約90㎡の広さを持つ洗練された「Regent Suite」のリビングルーム



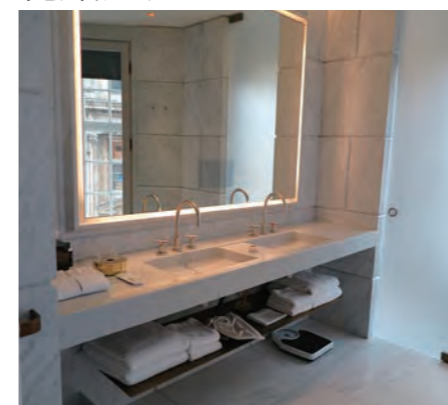
「Regent Suite」はベッドルームからもピカデリーを眼下に臨む理想的なスイートだ



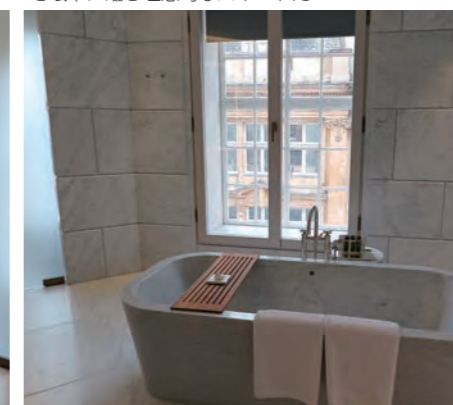
ロンドンで最初のデザートレストランといわれる「The Café」。大理石の独特な紋様が美しさを演出している



スパ施設「Akasha Holistic Wellbeing Centre」のゴージャスなスイミングプール



スタイリッシュなツインシンクの洗面コーナー



独立したバスタブが広いバスルームの中央に置かれている

どが足しげく通う社交場であったが、4年間の徹底的な改修工事を経て見事に復活した。現在はLHWのメンバーホテルとして、気品あるアーバンコンテンポラリー感覚の客室を擁したロンドン屈指の高級ホテルとなっている。

カフェ ロイヤルはパリの「Lutetia」などを展開する高級ホテルグループ、「The SET Hotels」の旗艦ホテルである。元々は19世紀後半に元フランスのワイン商人、Daniel Nicolas氏が1865年に創業したカフェがオリジナルである。1890年代には著名人が集う場所として有名になり、オスカー・ワイルドをはじめとしてチャーチルやミック・ジャガーなどがここに通り、ロンドンにおけるセレブの社交の中心地となっていた。2008年に修復工事のため、いったんクローズしたが、デヴィッド・チッパーフィールド率いるデザイン集団の手により、この歴史的な建造物は2012年に壮麗なホテルとしてピカデリーに門戸を開いた。

カフェ ロイヤルはスイートを含め全160室を擁し、文化財にも指定された古典的な内装とモダンなコンテンポラリーデザインが調和した魅力溢れるホテルだ。今回は約90㎡の広さを持つ「Regent Suite」を紹介したい。リビングやバスルームからもピカデリーサーカスを眼下に臨むスタイリッシュなスイートだ。メインダイニング「Oscar Wilde Bar」は創業当時の伝説的な「Grill Room」で、オスカー・ワイルド自身も常連だった。オールデイダイニング「The Ten Room」、ロンドンで最初のデザートレストランと言われる「The Café」なども充実している。スパ施設「Akasha Holistic Wellbeing Centre」の洗練されたスイミングプールやルイ16世様式の荘厳なボールルーム「Pompadour Ballroom」などホテル館内は見所が多い。

カフェ ロイヤルの館内は創業者であるDaniel Nicolas氏のイニシャル「N」の文字が館内に誇らしげに掲げられているが、まるでナポレオンの邸宅に入り込んだような空気が流れる。ベルサイユ宮殿の「鏡の間」を凝縮したような絢爛豪華なバー「Oscar Wilde Bar」など、ここはロンドンで異次元の体験が出来るラグジュアリーなホテルと言える。